

### 第3回 LPの河川定期縦横断測量への適用検討会

日時：平成30年3月14日(水) 10:00～12:00

場所：中央合同庁舎第3号館1階 A会議室

#### <議事要旨>

- 点検測量率は試行を通じ、精度とコストを検討した上で再度設定する。なお、来年度の試行における点検測量はこれらを検討する目的から、公共測量作業規程の準則に記載されている点検測量率より多く実施する。
- 水中部における点検測量について、ナローマルチビームのように面的に計測可能なものはコストが高いため、ロッド又はレッドのように安価な計測手法についても選択可能とする。
- 水質は日々変化しているため、できる限りLP計測時の状況下で調査を実施する。また、水質調査については、試行を通じ必要項目とコストを検討した上で再度設定する。
- 試行においては、調整用基準点の設置、計測、フィルタリング等の段階別のコストを分析し、河川管理者として必要とするデータとコストのバランスについて検討する
- 試行における成果については、フィルタリング前のオリジナルデータ、フィルタリング後のオリジナルデータ(フィルタリング内容含む)、TIN データ、格子データの4種類とする。
- 河川事務所、出張所に高性能なPCを配備し、職員がデータを扱える環境を整える必要がある。

以上